



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月25日

上場取引所 東

上場会社名 日本アビオニクス株式会社

コード番号 6946 URL <http://www.avio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長

(氏名) 秋津 勝彦

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部経理部長

(氏名) 山後 宏幸

TEL 03-5436-0600

四半期報告書提出予定日 平成24年11月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	12,225	△10.0	△446	—	△504	—	△1,392	—
24年3月期第2四半期	13,590	△8.7	△135	—	△205	—	△380	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △1,392百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △380百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△49.29	—
24年3月期第2四半期	△13.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	28,066	5,505	19.6
24年3月期	28,014	5,398	19.3

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 5,505百万円 24年3月期 5,398百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
24年3月期	—	0.00	—	0.00	円 銭	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	円 銭	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	円 銭	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後掲「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	△5.7	450	—	250	—	△800	—	△28.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 通期の連結業績予想に関する事項については、本日(平成24年10月25日)公表の「平成25年3月期第2四半期(累計)業績予想数値と実績値の差異および通期業績予想の修正ならびに特別損失および繰延税金資産の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	28,300,000 株	24年3月期	28,300,000 株
25年3月期2Q	43,162 株	24年3月期	42,312 株
25年3月期2Q	28,257,381 株	24年3月期2Q	28,259,414 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
第1種優先株式					
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00			
25年3月期(予想)			—	0.00	0.00
第2種優先株式					
25年3月期	—	—			
25年3月期(予想)			—	0.00	0.00

- (参考) 1. 第1種優先株式配当金の額は、以下の算式に従い算出される金額であります。
ただし、計算の結果、第1種優先株式配当金の額が20円を超える場合は20円となります。

$$\text{第1種優先株式配当金} = 1,000 \text{ 円} \times (\text{日本円TIBOR} + 1.0\%)$$

※ 日本円TIBOR …… 毎年4月1日現在における日本円のトーキョー・インター・バンク・オファード・レート(6ヶ月物)として全国銀行協会によって公表される数値

2. 第2種優先株式配当金の額は、以下の算式に従い算出される金額であります。
ただし、計算の結果、第2種優先株式配当金の額が20円を超える場合は20円となります。

$$\text{第2種優先株式配当金} = 1,000 \text{ 円} \times (\text{日本円TIBOR} + 1.25\%)$$

※ 日本円TIBOR …… 毎年10月1日現在における日本円のトーキョー・インター・バンク・オファード・レート(6ヶ月物)として全国銀行協会によって公表される数値

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表等	
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) セグメント情報等	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 9
4. 補足情報	
(1) 受注高及び受注残高	P. 10
(2) 売上高	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要があるものの、欧州経済の政府債務危機に伴う景気減速や円高により輸出が鈍化し、個人消費も伸び悩みなど厳しい状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループは、厳しい経営環境の中、売上高が伸びなくとも利益の出る体質となるべく、事業構造改革として民需製品の選択と集中、組織構造のスリム化、早期退職募集等による人員の削減等を実施しました。

その結果として、民需製品の選択と集中では、不採算又は将来成長の望めない映像機器等の事業を縮小又は整理し、組織構造のスリム化では、意思決定の迅速化と重複組織の削減を目指し、当社子会社 NEC Avio 赤外線テクノロジー株式会社を当社に吸収合併するとともに民需営業部門を事業部門と一体化いたしました。人員の削減に関しては、特別転進支援施策によるものも含めおおよそ計画通りとなりました。

これらの施策の実施に必要な資金に関しましては、親会社である日本電気株式会社を割当先として第2種優先株式 150 万株を発行し、15 億円を調達いたしました。

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高が海外経済停滞の影響を受け前年同期比 10.0%減の 122 億 25 百万円となりました。損益に関しましては、売上減少や情報システムの原価の悪化により営業損失が 4 億 46 百万円(前年同期比 3 億 11 百万円悪化)、経常損失が 5 億 4 百万円(前年同期比 2 億 99 百万円悪化)となり、さらに構造改革に伴う特別損失 15 億 71 百万円を計上したことから当期純損失は 13 億 92 百万円(前年同期比 10 億 11 百万円悪化)となりました。

セグメント別の状況

情報システム

情報システムは、指揮・統制関連装置が増加したもののその他の装置が減少したため全体では売上高は 68 億 2 百万円(前年同期比 2.0%減)、セグメント利益は新規プロジェクトの開発コストの増加等により、3 億 91 百万円(前年同期比 2 億 87 百万円減益)となりました。

電子機器

電子機器は、映像機器が事業収束に伴い減少し、接合機器は電子部品製造用装置が海外経済の停滞の影響により減少したため、売上高は 19 億 63 百万円(前年同期比 19.0%減)となりましたが、セグメント利益は費用削減に努めた結果、1 億 18 百万円(前年同期比 70 百万円増益)となりました。

プリント配線板

プリント配線板は、景気の減速に伴う半導体試験装置等の需要の減少により、売上高は 17 億 52 百万円(前年同期比 17.9%減)、セグメント利益は売上高減少により 55 百万円(前年同期比 31 百万円減益)となりました。

赤外線・計測機器

赤外線・計測機器は、海外経済の低迷により輸出が減少したほか価格競争の激化、単価の下落等により売上高は 17 億 7 百万円(前年同期比 18.3%減)、セグメント損失は 3 億 5 百万円(前年同期比 65 百万円改善)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ52百万円増加し、280億66百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が2億46百万円、土地が7億89百万円それぞれ減少したものの、現金及び預金が3億77百万円、たな卸資産が5億37百万円それぞれ増加したためであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ55百万円減少し、225億60百万円となりました。これは主に退職給付引当金が7億88百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が1億68百万円、借入金が67百万円、賞与引当金が1億31百万円それぞれ増加したためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億7百万円増加し、55億5百万円となりました。これは主に四半期純損失を計上したものの、資本金及び資本剰余金が7億50百万円それぞれ増加したためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年4月27日に公表いたしました予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「平成25年3月期第2四半期（累計）業績予想数値と実績値の差異および通期業績予想の修正ならびに特別損失および繰延税金資産の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項**(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動**

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表等
 (1) 四半期連結貸借対照表

日本アビオニクス株(6946) 平成25年3月期第2四半期決算短信

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,830	2,208
受取手形及び売掛金	10,718	10,472
たな卸資産	4,889	5,426
その他	801	1,041
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	18,237	19,146
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,720	1,627
土地	4,847	4,058
その他(純額)	878	784
有形固定資産合計	7,446	6,470
無形固定資産	205	156
投資その他の資産		
前払年金費用	1,263	1,109
その他	926	1,248
貸倒引当金	△64	△64
投資その他の資産合計	2,124	2,293
固定資産合計	9,776	8,920
資産合計	28,014	28,066

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,510	4,679
短期借入金	7,290	8,030
未払法人税等	220	44
賞与引当金	585	716
工事損失引当金	23	33
製品保証引当金	129	90
その他	1,469	2,040
流動負債合計	14,228	15,633
固定負債		
長期借入金	2,094	1,421
再評価に係る繰延税金負債	1,157	1,157
退職給付引当金	5,108	4,320
その他	27	27
固定負債合計	8,387	6,926
負債合計	22,615	22,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,145	5,895
資本剰余金	—	750
利益剰余金	△1,707	△3,100
自己株式	△11	△11
株主資本合計	3,426	3,533
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	1,973	1,973
為替換算調整勘定	△1	△1
その他の包括利益累計額合計	1,972	1,972
純資産合計	5,398	5,505
負債純資産合計	28,014	28,066

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	13,590	12,225
売上原価	10,310	9,520
売上総利益	3,280	2,704
販売費及び一般管理費	3,415	3,151
営業損失(△)	△135	△446
営業外収益		
為替差益	—	10
受取手数料	11	11
助成金収入	3	16
その他	13	8
営業外収益合計	27	47
営業外費用		
支払利息	84	69
その他	13	35
営業外費用合計	97	105
経常損失(△)	△205	△504
特別利益		
固定資産売却益	—	146
特別利益合計	—	146
特別損失		
固定資産除却損	1	0
減損損失	—	107
事業構造改善費用	—	1,463
特別損失合計	1	1,571
税金等調整前四半期純損失(△)	△206	△1,929
法人税等	174	△537
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△380	△1,392
四半期純損失(△)	△380	△1,392

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△380	△1,392
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益合計	0	0
四半期包括利益	△380	△1,392
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△380	△1,392
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期累計(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	情報 システム	電子機器	プリント 配線板	赤外線・ 計測機器	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	6,942	2,425	2,133	2,089	13,590	—	13,590
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,942	2,425	2,133	2,089	13,590	—	13,590
セグメント利益 (営業利益)	679	47	87	△ 371	443	△ 579	△ 135

(注) 1. セグメント利益の調整額 579 百万円は、各報告セグメントに配分していない
全社費用 550 百万円、のれんの償却額 20 百万円及びその他の調整額
7 百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管
理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期累計(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	情報 システム	電子機器	プリント 配線板	赤外線・ 計測機器	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	6,802	1,963	1,752	1,707	12,225	—	12,225
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,802	1,963	1,752	1,707	12,225	—	12,225
セグメント利益 (営業利益)	391	118	55	△ 305	260	△ 707	△ 446

- (注) 1. セグメント利益の調整額 707 百万円は、各報告セグメントに配分していない
全社費用 696 百万円及びその他の調整額 11 百万円であります。全社費用
は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成 24 年 9 月 27 日付で、日本電気株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。
この結果、当第 2 四半期連結会計期間において資本金が 750 百万円、資本準備金が 750 百万円それぞれ増加し、当第 2 四半期連結会計期間末において資本金が 5,895 百万円、資本準備金が 750 百万円となっております。

4. 補足情報

(1) 受注高及び受注残高

(単位：百万円)

区 分	前年同四半期 (平成24年3月期 第2四半期累計)		当 四 半 期 (平成25年3月期 第2四半期累計)		(参 考) 平成24年3月期	
	受 注 高	受注残高	受 注 高	受注残高	受 注 高	受注残高
情報システム	4,916 (72)	7,803 (13)	6,917 (15)	8,997 (6)	13,252 (180)	8,882 (78)
電 子 機 器	2,216 (856)	370 (240)	1,993 (890)	332 (218)	4,638 (1,782)	302 (156)
プリント配線板	2,054 (50)	456 (8)	1,984 (63)	769 (17)	4,017 (90)	537 (7)
赤外線・計測機器	2,054 (402)	1,758 (195)	813 (206)	448 (32)	3,983 (738)	1,342 (171)
合 計	11,241 (1,381)	10,388 (458)	11,708 (1,176)	10,548 (274)	25,892 (2,791)	11,065 (414)

(注) () 内数字は輸出額であり、内数であります。

(2) 売 上 高

(単位：百万円)

区 分	前年同四半期 (平成24年3月期 第2四半期累計)		当 四 半 期 (平成25年3月期 第2四半期累計)		(参 考) 平成24年3月期	
	売 上 高	構 成 比 %	売 上 高	構 成 比 %	売 上 高	構 成 比 %
情報システム	6,942 (200)	51.1 (1.5)	6,802 (88)	55.6 (0.7)	14,199 (243)	51.5 (0.9)
電 子 機 器	2,425 (997)	17.8 (7.3)	1,963 (828)	16.1 (6.8)	4,915 (2,007)	17.8 (7.3)
プリント配線板	2,133 (49)	15.7 (0.4)	1,752 (53)	14.3 (0.5)	4,016 (91)	14.6 (0.3)
赤外線・計測機器	2,089 (516)	15.4 (3.8)	1,707 (345)	14.0 (2.8)	4,434 (876)	16.1 (3.2)
合 計	13,590 (1,764)	100 (13.0)	12,225 (1,315)	100 (10.8)	27,565 (3,218)	100 (11.7)

(注) () 内数字は輸出額であり、内数であります。